

高断熱性能を追求した付加断熱

付加断熱

内断熱

+

外断熱

インサイトPC

パレックス

【付加断熱の特徴】

- ・熱貫流率を小さくし、熱損失を大きく減らすことができます。サッシの性能、日射遮蔽、取得を含め高効率な設備の使用により飛躍的に低燃費住宅ができます。
- ・外断熱（パレックス）、内断熱（セルースファイバー）といった断熱材を含めた材料の複層化によりそれぞれの長所を合わせて使用することに熱橋、結露などの弱点を低減できます。
- ・30分防火認定取得、公的申請（フラット35）など優遇にも対応できます。

【将来を見据えた省エネ】

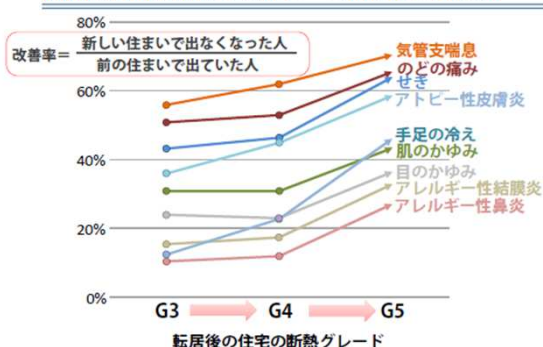
付加断熱による躯体の高断熱化により、高い断熱性能で他社との差別化！

【付加断熱による高断熱化の理由】

①省エネの前に健康・快適の観点から

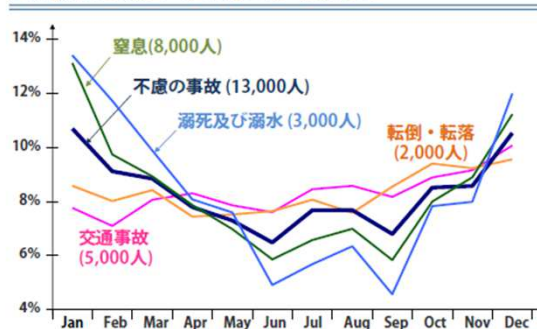
居住環境（特に寒さに関する温度維持）が健康に与える影響することの認識から 快適、健康を維持するために設備を効率的に活用するにも建物の本体の高断熱化が不可欠、基本になります。

高断熱の健康改善効果 全国2万人調査より



出典：省エネ「断熱性能と健康」日本建築学会建築工学委員会断熱環境調査委員会第40回断熱シンポジウム、2010年10月

月別死亡数：事故による死亡



出典：厚生労働省人口動態統計

②効率的な省エネ化が低燃費へ

省エネ（1次エネルギー消費量）は設備効率を設定、評価するための最低限の基準でしかありません。本体の断熱性能を上げるにより高効率設備が生き、省エネ化が実現できます。

③コストパフォーマンス

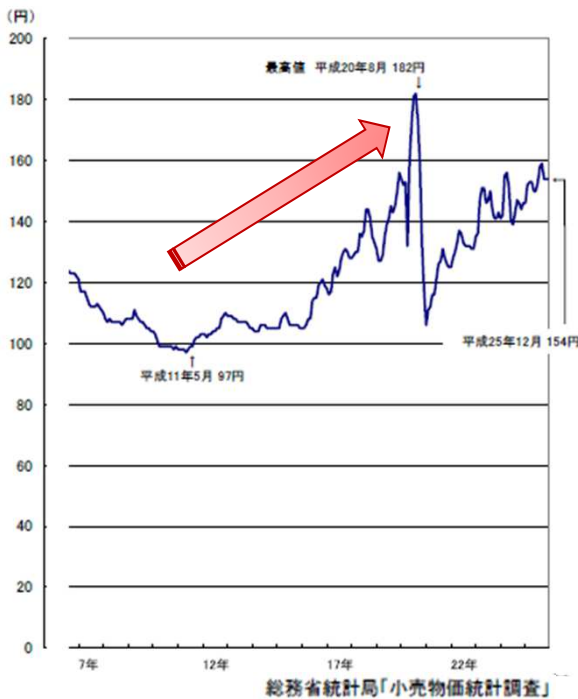
（長期的な金額面からの有効性と電気、灯油、ガソリンなどの価格上昇に対応）

健康、快適と言った居住環境に関して躯体の高断熱化にかかる金額と高効率設備にかかる金額と比較した場合、低燃費による光熱費の削減に加え耐用年数など考慮し長期的ランニングコストを考えた場合に金額的なメリットが大変大きい。

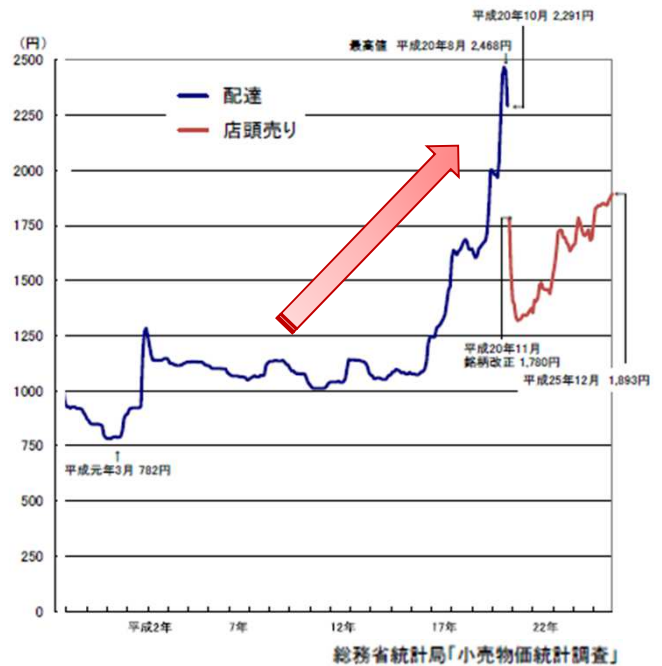
設備依存型（効率よくエネルギーを使用する）考えではなく、**できるだけ使用しない考え方**により、今後懸念される化石燃料の枯渇に伴う電気、灯油、ガソリンなどの価格上昇にも対応できます。

世界的なエネルギー資源の枯渇と環境問題。日本の低いエネルギー自給率、中東依存の偏った資源の輸入。衝突事項、海賊、テロ攻撃など輸送上の問題やチョークポイントへの依存度。これに加え原発問題によりエネルギー供給が途絶え電気、灯油、ガソリン、ガスの価格が高騰したら・・・

自動車ガソリンの東京都区部小売価格

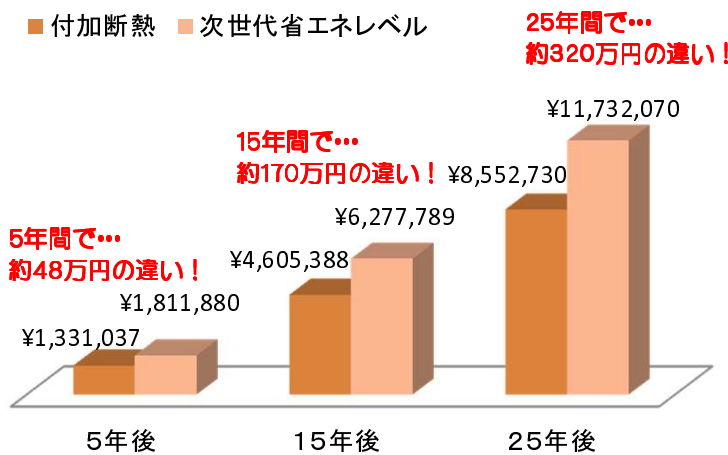


灯油の東京都区部小売価格



長期的な光熱費の差額

■ 付加断熱 ■ 次世代省エネレベル



※設備条件等は同じで試算しております。

完成～25年間を試算。
電気、ガス、灯油の価格は、
5年後 1.25倍
15年後 1.50倍
になった場合を仮定、試算。

5年で... 約 48万円の違い!
15年で... 約170万円の違い!
25年で... 約320万円の違い!

④資産価値の観点から

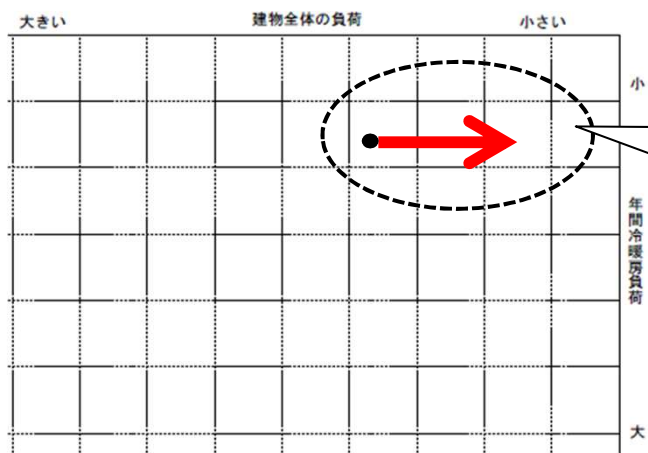
国は今後新築住宅、中古住宅の活性化を含めた性能の向上とともに住宅の資産価値を評価していく方向にあります。この場合設備に関しては評価対象外とされる可能性が高いです。

欧米では基本的に設備関係は評価対象外になっており、建物本体の性能が評価対象となっています。

⑥長期的な省エネへの対応が可能

設備は耐用年数が短く取り替えが比較的容易ですが、躯体の変更は容易ではなくこれにかかる費用も大変大きなものです。

状況に応じた高効率設備への変更、再生エネルギーの活用で更に低燃費化、ゼロエネルギー、LCCMへ対応が可能です。



高い水準の断熱性能は耐用年数に伴う設備の買い替えまたは、太陽光発電などの再生エネルギーの途中導入により時代に左右されない長期的な省エネ性能を実現できます！

International Priority Projects

(有)インターナショナルプライオリティプロジェクト
〒465-0087 名古屋市名東区名東本通 3-42
Tel : 052-704-9181 Fax : 052-704-9183

